



あだち野のむかし物語

ずーっと、ずーっと、昔ナイ。

木幡の幡祭り②

こはた はたまつ
みなものふゆむ 源 頼義、八幡太郎義家父子は、戦をしないで勝った訳ですが、木幡山の北の方に勝屯内という字が残っていて、その近くに八間石という平らな大きい石があり、そこでみんなで一晩飲み明かしたそうです。そして、その石に八幡太郎義家が乗っていた馬の足跡があるのだといひます。また、その下の方に関場という所があるのですが、ここでは、川をせき止めて関堀で馬を洗ったといひます。ここにも馬の足跡があるといひことです。

これが陸奥平定の要因となり、朝廷に奏上したところ、後冷泉天皇はこの山を「木幡山」、山裾の別当寺院を「治陸寺(陸奥を治める)」と名付けられ、宸筆(天皇の自筆)の額を賜ったのです。

以来、神仏の加護を深く信ずる里の人々は、源氏の白旗になぞった手

織りの五反旗を作つて木幡山を練り歩き、源氏の武勲を称え合つたのです。そして、そのことが今に伝えられ続けているのです。

昔は、自分の家で織つた絹の白旗ばかりだったそうですが、今では、それに色もつけた方がよいということになって、各「堂社」ごとに区切りをして、先達(案内人)という人が、白い旗を持つことになった訳です。また、買つてきた反物でも、山の木にひつかかつて裂けてしまった物でも、女の人たちが縫い物をする、ちゃんと着物になるようになっていたといひます。そういう訳で、この家でも喜んで旗にする反物を出してくれまし、また、余つた反物は、背負つてお山参りをしたものだそうです。

現在、木幡の幡祭りは、毎年12月の第一日曜日に行われています。



▲現在の幡祭りの様子。



あだち野のむかし物語
安達地方広域行政組合
ウェブサイト

二本松警察署からのお知らせ

犯罪発生状況(令和6年1月~10月末)

	二本松地区	安達地区	岩代地区	東和地区	不明等	合計	前年対比
侵入盗	1	1		1		3	
空き巣	1	1				2	-3
出店荒し	5(4)	3	5(1)	6(5)		19(10)	6
その他	7(1)	10(2)		1		18(3)	-12
非侵入盗	4	1				5	4
車上ねらい	18(2)	20(4)	31(7)	15		84(13)	43
その他	6(1)	2		2		10(1)	-3
自転車盗	3(1)		1			4(1)	-1
器物損壊	2		1	1		4	2
住居侵入	14(1)	4	2	1(1)	2	23(2)	-11
その他	61(10)	42(6)	40(8)	27(6)	2	172(30)	25
合計	-22	-1	27	21		25	
前年対比							

※()は10月の発件数



地域で子供の見守りを!!
日常生活の中、気軽にできる
「ながら見守り」活動の
協力をお願いします。



みんなで つくろう 安心のまち

年末年始における安全運動の実施

期間 12月10日(火) ~ 令和7年1月7日(火)

- 子どもと女性の犯罪被害防止
- 特殊詐欺、SNS投資・ロマンス詐欺の被害防止
- 自転車盗、万引きの被害防止
- 地域で多発する犯罪の発生実態に即した犯罪被害防止



—POLICEアプリふくしま登録募集中—
福島市の安全安心を守るアプリです。
QRコードから登録してください。
二本松警察署電話 23-1212

